

2024
春号
No.95

ほ な み
穂 濤
For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稲門会
事務局
FAX 050-3730-7252
E-mail:w.fujisawa@
crocus.ocn.ne.jp
発行人 笹 井 修 一
穂 濤 編 集 委 員 会

2024年度定時総会

2024年度定時総会が2月12日(月・振替休日)に、藤沢市民会館第1展示集会ホールにおいて会員84名の出席により開催された。定刻の午後2時に梶倉康博副会長の司会でスタート。まず、昨年度物故された15名に黙祷を捧げた。引き続き、内田進会長より今年度は、箱根駅伝応援・総会および新春のつどい・藤稲懇話会・地引綱・新入会員歓迎会・作品展・忘年会と計画していた行事が盛大に開催できたと挨拶があった。議事は、外岡健幹事が議長に選任され審議が進められた。まず会則の改訂として、近年の利用者の減少にともない10年会費制度の廃止が提案され承認された。引き続き「事業報告・事業計画」、田中雄一幹事長・会計担当より「決算報告・予算案」、渋谷道夫会計幹事より「監査報告」そして各委員長より、活動計画の説明があった。「幹事・会計監事の選任」では、6名の退任幹事には長年の活動に対するねぎらいの声、2名の新任幹事には期待に満ちた紹介がされた。議案1〜6号とも大きな拍手で会員から承認され、総会はずつがなく終了した。

内田進前会長より笹井修一新会長へ!



バトンタッチした新旧会長

なお、総会後の臨時幹事会において、幹事の互選により笹井修一幹事が第7代藤沢稲門会会長に選任された。(山口金雄 記/写真 高野尚志)

会長を拝命して



藤沢稲門会会長 笹井修一

藤沢稲門会の歴史に大きな足跡を残された内田進会長の後任として、このたび会長に選任されました。昭和46年商学部卒業の笹井修一です。私はあふれるほどの早稲田愛も持ち合わせませんし、早稲田馬鹿と称揚されることもありません。言わばごく普通の卒業生です。しかし不思議なもので、早稲田のキャンパスに立つと、今でも当時の

2024年度 事業計画

- 【行事・他】
- ☆箱根駅伝沿道応援 (1月2・3日)
 - ☆総会・新春のつどい (2月12日)
 - ☆地引綱 (5月12日/日曜日)
 - ☆地引綱には絶好の日取りを確保できたので、多数の参加者を期待する。
 - ☆新入会員交流会
新たに参加された会員のご意見やご要望をお聞きする良い場であるので、早い時期に実施する。
 - ☆作品展
第22回作品展は、ODAKYU 湘南GATE (藤沢市民ギヤラリ) で秋以降に開催する予定。
 - ☆SUU
状況を見ながら参加人数を検討。
 - ☆「各委員会活動方針」
「仲間との再会、アクティブなセカンドライフの創出を！」に基づく6つの指針。
 - ☆HP・LINE等の活用による継続的な入会活動展開。
 - ☆「平成卒の会」と連携し、若手会員の増強と組織活動の活性化推進。
 - ☆箱根駅伝応援における入会活動展開による新入会員増強。
 - ☆新入会員交流会を実施し、行事・同好会への参加推進。
 - ☆各種同好会との協働化による活性化推進。
- 期間中、出展者交流会をレストラン等で行う予定。
☆忘年会 (12月21日/土曜日)
☆第6回藤稲懇話会 (3月9日)
講師・公平仲夫
第7回以降も計画。
- ☆女性若手の親睦交流会
・女性会員の親睦会のほか新入女性会員と女性委員の交流会等を今後も開催予定。
・平成卒の会は湘南地区稲門会の若手と連携し親睦交流会を実施予定。稲門祭への出店を検討する。
- ☆県下稲門会及び他大学との交流
県下稲門会と交流。藤沢三田会及び藤沢白門会とは、適宜、情報を交換して行く。

穂 濤

☆藤稲懇話会の定期的な実施及び
会設立目標、「新しい学びと交
流による会員の文化的知識向上
と会員相互のふれあいの推進」
の具現化。

◆行事企画運営委員会

☆箱根駅伝応援・新春の集い・地
引網・作品展・忘年会をメイ
ン行事として継続。

☆小規模イベントの企画運営

☆各同好会・委員会等のイベント
支援もしくは共催。

☆呼びかけにはHP、藤沢稲門会
LINEを活用していく。

◆女性委員会

☆女性校友相互の親睦を深める
(フチ懇親会を年1〜2回実施)

☆女性校友の入会呼びかけを推進

☆他委員会とも連携し、女性会員・
一般会員参加型のイベントを企
画する。

☆県下他稲門会「女性の会」との
交流に努める。

◆広報委員会

☆「穂濤」の年4回発行。

☆WEB運営チーム

*ホームページの書庫を充実。

☆LINEでの発信数を増やす。

(月1回)

☆LINEに同好会の活動報告
(動画など)を投稿。

☆同好会のホームページ作りを支
援する。

☆会員の趣味・特技情報と同好会
との縁結び。

●委員会では、幹事のみではなく
一般会員の皆様にも委員会参加

を期待しておりますので、ご関
心のある方は、是非、活動にご
参加ください。

2023年度

長寿表彰者

長寿表彰は学部卒年換算で卒後
60年の方々に贈られます。
おめでとうございます。

長寿表彰を受けて

川澄武雄 (昭和38・教育)

定時総会後の新春の集いで長寿
表彰をうけました。昭和38年卒後
60年という表彰です。藤沢稲門会
には該当者が12人おられるそうで
すが、栄えある壇上には7人が並
びました。そしてうれしい記念品
も頂戴しました！ 有難うござい
ました。

私はことし84歳になります！
いつの間にかこんなにトシを食っ
たのだらうと、日々信じられない
思いで過ごしています。この年齢
になると大学時代の学友とはクラ
ス会なども閉じられ疎遠になつて



長寿表彰の皆様

います。電話で元氣確認している
仲間も数名になつてしまいました。
私たちの学生生活： 昭和34年
4月、ミッチーブームのさなか
に入学しました。35年6月、安保
改定運動！ ノンポリの私らでも
国会デモに2、3度拉致されまし
た。その秋が早慶6連戦！ 5完
投した安藤元博投手のゆつたりと
したアンダースローのマウンド姿
が今でも忘れられません。
当時は地方出身の学生も多く、
たぶん現在よりも苦学生も多かつ
たと思いますが、多彩な友人たち
と、いま思えば楽しい青春時代を
過ごせたかな... と思つています。
これからも元氣です！ すすむために
地域活動やウォーキングサークル
でお手伝いします。藤沢稲門会の
皆さま、今後ともよろしくお願
いします。

アフターコロナの宴席は大盛況！

新春の集い

総会終了後同会場にて、
来賓31名を含む115名の
参加により新春の集いが開
催された。司会は市島徹、
松本佐知子両幹事が務めた。
今総会をもって退任した
内田進前会長は「在任6年間で
コロナ禍で全く活動ができな
らい時期もあったが、ホームベ
ージの再構築など、いくつかの
新たな取り組みが進んだことは
皆様の協力があったとのこと。」
と感謝を述べた。



全員による校歌斉唱

続いて笹井修一前会長が「大役
を任せられたが、自分自身の最大
の役割は次の優秀な世代に繋ぐこ
とである。」と抱負を語った。
来賓挨拶では大学の天野紀明理
事より、社会に貢献する志を持つ
学生を育てていきたいとの決意を、
また東島正樹稲門会県支部長から
は、県内14支部の相互交流への期
待を語られた。
公平伸夫顧問の発声にて乾杯。



お笑い芸人ライブショー

長寿表彰(昭和38年卒)は12名、
そのうちの7名が登壇し、記念品
贈呈や記念撮影の後、代表の川澄
武雄氏が挨拶をされた。
次第に盛り上がる中、新入会員
5名が登壇、自己紹介を行う。そ
して恒例のアトラクション。今年
は、お笑い芸人トリオ波止場ミュ
ージシャンによるライブショー。
3人は普段ピン芸人として活動、
今回特別にトリオユニットを組み、
芸名もこの会限りとのこと。それ
ぞれ、かなり個性豊かな芸風の持
ち主、「すべらないギャグ」を目
指したようだが、多少の「すべり」
は芸のうち。会場は大いに沸いた。
最後に全員で大陣を作る。そ
の中央に立つ応援部OB野澤大地
氏の見事なリードによる校歌斉唱、
まさにアフターコロナを象徴する
ような力強い歌声が会場に響いた。
(安田佳裕 記)

2024年度 役員・幹事一覧

*会 長

笹井修一

*副会 長

田中雄一 (会計)

佐藤順子

舛岡 健 (広報委員長)

*副会長・幹事長

狛倉康博 (組織拡大活性化委員長)

*事務局長

神藤利路

*幹 事

青木 康 (昭53商学)

服部裕治 (昭56商学)

小川道雄 (行事企画運営委員長)

杉下山輝 (平成卒の会担当)

松本佐知子 (女性委員長)

石川一平 / 市島 徹

大庭信俊 / 小泉英春

高野尚志 / 瀧澤和美

田中 実 / 洞江 良

八田英治 / 三ツ村由紀子

村山雅夫 / 本谷 守

安田佳裕 / 山口金雄

山下扶佐子

*監 事

渋谷道夫 / 三瀧信道

※太字は新任

*退任幹事 〆苦勞様でした。

飯田篤史 / 内田 進

庄司 修 / 中野正一

鈴木豆生 / 村富洋一

中野美昭 (昨年9月)

退任のご挨拶



前会長
内田 進

第6代会長職をお引き受けし、6年間務めさせて頂きました。大過なく次期笹井会長にバトンをお渡し出来たのは、会員の皆様方の絶大なご支援と、幹事の方々の協力の賜物と衷心より感謝申し上げます。

振り返りますと、直ぐに浮かびますのは2020年初冬に発生した未曾有のコロナの影響です。日常生活は一変し、稲門会活動も大きな停滞を余儀なくされました。幹事一体となり、難局に屈することなく日頃思っていたことに着手する契機となりました。

偶々創立30周年という節目でホームページを一新して、会員との相互交流できる有機的なシステムを構築しました。同時に、未加入校友者に情報発信するLINEも立ち上げました。若い会員が増えてきたことは嬉しい限りです。

また、文化サロンとして立ち上げた、会員が講師を務める「藤稲懇話会」もコロナ明けから再開し、5回を重ね様々なテーマで好評を頂いています。

そして、我々が主管であった年に一度の県支部大会も、2年に渡る延期を余儀なくされ、3年ぶりの対面方式で盛会に開催できた事は思い出深いものでした。

最後に、笹井新会長に倍旧のご支援を賜りたくお願い申し上げますと共に、今までのご支援・ご協力に感謝申し上げ退任のご挨拶に代えさせて頂きます。

有難うございました。

秋田より4名が応援に参加

第100回箱根駅伝

新年早々、能登半島で大地震があり大変な一年を予感させる幕開けとなりましたが、そんな中、今年も1月2日、恒例となった藤沢稲門会と秋田稲門会との交流事業である箱根駅伝の応援と新年交流会が藤沢市で開催され、秋田稲門会から佐野元彦会長をはじめ4名の会員が参加しました。

藤沢市内を走る往路3区の辻選手が、我々の日の前を東洋大、口大の選手とともに6位グループで通過したときは、沿道の応援会場に集まった藤沢稲門会や神奈川県内の稲門会の皆さんと一緒に声の限りを尽くして応援しました。その甲斐あってか各選手の頑張りでも往路5位、総合7位の成績を残し無事来年のシード権を獲得。来年もまた応援できる幸せに人満足で

穂 瀧

す。その後、秋田稲門会一行は時宗総本山の遊行寺に参詣しました。偶然、一緒させていただいた鈴木市長に、遊行寺の奥に新しく出来たという銭洗い弁天を案内していただき、お金が増えるよう合わせてお詣りしました。

参詣後、秋田県鹿角市出身のご主人が経営する「宗平」で行われた交流会に参加しました。藤沢稲門会の皆様には昨年、秋田の乳頭温泉に来ていただき交流を深めたところですが、今回もまた秋田の地酒を酌み交わしながら大いに盛り上がり、再びの交流を深めることができました。藤沢稲門会の皆様に深く感謝申し上げます。また、秋田への来訪を心よりお待ちしております。木村雅彦(秋田稲門会)

【参加者】(敬称略)

- 鎌倉稲門会／相模原稲門会
- 逗葉稲門会／茅ヶ崎稲門会
- 大和稲門会／横須賀三浦稲門会
- 秋田稲門会／藤沢三田会 他

【ご寄付】(敬称略)

- 鎌倉稲門会／相模原稲門会
- 逗葉稲門会／大和稲門会
- 横須賀三浦稲門会／秋田稲門会
- 藤沢三田会／片山 徹様 他



全員で記念写真

新春カルタ大会

1月18日、藤稲言葉遊びの会の新春カルタ大会が開かれました。

カルタは稲門会会員の三瀨(みつま)さんが座長をつとめる同好会「藤稲言葉遊びの会」の会員のみなさんが作ったもの。地元藤沢の名所や郷土の情景をめぐりに短歌にしたてた百人一首です。

カルタ大会は参加者が4つのチームに分かれ、トーナメント方式で競われました。合間には三瀨座

長の上の句が続いて、即興で下の句をつけるゲームも行われ、それぞれの生活感や性格のあふれる迷句に笑いの絶えない時間が流れました。スポーツだけでは無い「知の早稲田」を彷彿させる催しものでした。

このカルタ、今年は藤沢市教育文化センターから、市内の小学校に教材として貸し出されるとのこと。YouTubeで動画をご覧いただけます。またこの百人一首(藤沢百趣)は近日中に当会のホーム



カルタを探す眼差しが真剣そのもの

ページにもアップロードされます。お楽しみに。
<https://youtu.be/RoIUPlDK1sY>
(笹井修一記)

行事予定

■地引網
日時・5月12日①
会場・湯召毎字／届日網

編集後記

春が来ると暖かくなり、桜が咲き、新年度が始まり、心が明るくなる時期ではあるが、今年には能登地震での災害、ウクライナの戦争の長期化、ガザ地区の紛争、国内政治の墮落等々マイナス要因が例年に比べ多すぎるような気がしている。

過去の同時期の穂瀧編集後記を振り返ると一昨年はコロナ真っ盛り、昨年はコロナ明けが見通せるとある。ただウクライナでは戦争をしており、報道されないだけで世界では各地で紛争がある筈である。

人の関心は移り気で、被害を受けた方殆んどが忘れないうで欲しいと訴えるが、その通りと改めて実感させられた。(舛岡 健記)

- 編集委員長 舛岡 健
- 編集委員 高野尚志・中野正一
- 安田佳裕・山口金雄
- 山下扶佐子

お詫び及び訂正
穂瀧94号県支部大会の記事
応援指導部 ↓ 応援部